

**教育委員会の事務の管理及び
執行状況に関する点検・評価報告書
(平成28年度対象)**

**平成29年9月
新潟市教育委員会**

本報告書は、効果的な教育行政の推進に資するとともに市民への説明責任を果たしていくために、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教育法」という。）第26条の規定に基づき平成28年度の教育委員会の事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果をまとめたものです。

— 目次 —

I 教育委員会の活動状況について

- 1 教育委員会会議の開催状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- 2 教育委員会会議以外の活動状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
- 3 平成28年度の主な取組と成果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

II 新潟市教育ビジョンの施策評価について

- 1 平成28年度施策評価一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
- 2 主な施策・事業の評価状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
- 3 教育ビジョン推進委員からの主な意見・要望と教育委員会の対応
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16

【参考】

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

- 2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

I 教育委員会の活動状況について

1 教育委員会会議の開催状況

○新潟市教育委員会定例会・臨時会

- | | | |
|---------|--------|--|
| 4月 定例会 | 議案第 1号 | 平成28年5月議会臨時会の議案について |
| | 議案第 2号 | 平成29年度使用新潟市立小学校用教科用図書採択に関する基本方針について 平成29年度使用新潟市立中学校用教科用図書採択に関する基本方針について 平成29年度使用新潟市立特別支援学校用教科用図書採択に関する基本方針について |
| | 議案第 3号 | 平成29年度使用新潟市立高志中等教育学校前期課程用教科用図書採択に関する基本方針について |
| | 議案第 4号 | 平成29年度使用新潟市立高等学校用教科用図書採択に関する基本方針について |
| | 議案第 5号 | 平成29年度使用新潟市立高志中等教育学校後期課程用教科用図書採択に関する基本方針について |
| | 議案第 6号 | 32期新潟市社会教育委員の委嘱について |
| | 議案第 7号 | 23期新潟市文化財保護審議会委員の委嘱について |
| 5月 定例会 | 議案第 8号 | 平成28年6月議会定例会の議案について |
| 6月 定例会 | 議案第 9号 | 新潟市立学校職員の勤務成績の評定に関する規則の廃止について |
| 7月 定例会 | 議案第10号 | 平成29年度使用新潟市立小学校用教科用図書並びに新潟市立中学校用教科用図書の採択について |
| | 議案第11号 | 平成29年度使用新潟市立高志中等教育学校前期課程用教科用図書の採択について |
| | 議案第12号 | 平成29年度使用新潟市立特別支援学校・学級用一般図書の採択について |
| | 議案第13号 | 教育委員会の人事について |
| 8月 定例会 | 議案第14号 | 平成28年9月議会定例会の議案について |
| | 議案第15号 | 教育委員会の事務の管理及び執行状況に関する点検・評価の議会報告について |
| | 議案第16号 | 平成29年度使用新潟市立高等学校用教科用図書採択について |
| | 議案第17号 | 平成29年度使用新潟市立高志中等教育学校後期課程用教科用図書採択について |
| 9月 定例会 | — | 報告案件のみ |
| 10月 定例会 | 議案第18号 | 平成28年11月議会臨時会の議案について |
| | 議案第19号 | 分離新設校の通学区域について |
| | 議案第20号 | 通学区域の一部変更について |
| 11月 定例会 | 議案第21号 | 平成28年12月議会定例会の議案について |
| | 議案第22号 | 市立小学校長の人事について |
| 12月 臨時会 | — | 報告案件のみ |
| 12月 定例会 | 議案第23号 | 新潟市いじめ防止対策等専門委員の委嘱について |
| 1月 定例会 | 議案第24号 | 職員の人事措置について |
| 2月 定例会 | 議案第25号 | 平成29年2月議会定例会の議案について |
| | 議案第26号 | 市立学校園の校長の人事について |
| 2月 臨時会 | 議案第27号 | 教職員の人事措置について |

- 3月定例会 議案第28号 新潟市教育長職務代理者の事務を委任する規則の制定について
 議案第29号 新潟市教育委員会職員分限取扱規程の制定について
 議案第30号 新潟市教育職員の勤務時間、休暇等に関する条例施行規則の制定について
 議案第31号 新潟市教育職員の特殊勤務手当支給条例施行規則の制定について
 議案第32号 新潟市教育職員退職手当支給条例施行規則の制定について
 議案第33号 新潟市特定教職員の俸給表の切替え等に関する条例施行規則の制定について
 議案第34号 新潟市臨時教育職員に関する規則の制定について
 議案第35号 新潟市学校事務共同実施に関する規則の制定について
 議案第36号 県費負担教職員の給与負担等の移譲等に伴う関係教育委員会規則の整備等に関する規則の制定について
 議案第37号 新潟市立幼稚園に勤務する教育職員の勤務時間等に関する規程の廃止について
 議案第38号 新潟市教育委員会組織規則の一部改正について
 議案第39号 新潟市教育長に対する事務の委任等に関する規則の一部改正について
 議案第40号 新潟市長から委任を受けた新潟市生涯学習センターの管理に関する規則の一部改正について
 議案第41号 新潟市公民館条例施行規則の一部改正について
 議案第42号 新潟市立図書館条例施行規則の一部改正について
 議案第43号 通学区域の一部変更について
 議案第44号 教育財産の用途廃止について
 議案第45号 新潟市いじめの防止等のための基本的な方針の改定について
 議案第46号 事務局及び機関の長の人事について
 議案第47号 教職員の人事措置について

○教育委員会会議の公開等に関すること

- ・会議について 原則公開（人事案件等非公開の場合あり）
- ・開催案内について ホームページ・市報にいがた等に掲載
- ・会議案件について ホームページで案件名を事前に公開
- ・会議録について 会議終了後、会議速報をホームページに掲載
 会議録作成後、速やかに、ホームページに掲載及び
 市政情報案内室において公開
- ・傍聴の平均人数 2.43人

- ・地教行法等に基づき、新潟市では毎月、教育委員会定例会及び必要に応じて臨時会を開催しており、平成28年度は14回の会議（定例会12回、臨時会2回）を開催しました。
 （付議事件47件、報告案件24件）
- ・重要な案件については、教育委員会定例会の付議事件とする前に協議会の場において事前協議を行い、十分な検討を重ねています。（協議会案件3件）
- ・会議は原則公開で行っています。（人事案件等、非公開の場合あり。）

2 教育委員会会議以外の教育委員の活動状況

○意見交換会・懇談会

- 平成28年 6月 区教育ミーティング（西区，西蒲区）
平成28年 7月 総合教育会議
区教育ミーティング（北区，江南区，南区）
中学校区教育ミーティング（東石山，五十嵐，新津第五，潟東）
平成28年 8月 区教育ミーティング（東区，中央区，秋葉区）
中学校区教育ミーティング（岡方，白根北，山潟，上山，横越）
平成28年 9月 中学校区教育ミーティング（巻東，小須戸，木戸，早通）
平成28年10月 中学校区教育ミーティング（光晴，下山，柳都，味方）
平成28年11月 区教育ミーティング（西区）
中学校区教育ミーティング（月潟，小新，亀田，黒埼，巻西，小合）
平成28年12月 区教育ミーティング（北区，東区，中央区，南区）
中学校区教育ミーティング（亀田西）
平成29年 1月 総合教育会議
小中学校PTA連合会との懇談会
区教育ミーティング（江南区，秋葉区，西蒲区）
平成29年 2月 総合教育会議

- ・ 教育委員会と地域との連携強化，開かれた教育委員会を目指し，各区の自治協議会委員と区教育ミーティングを年2回行いました。また，各区3中学校区で中学校区教育ミーティングを行いました。
- ・ 総合教育会議を年3回開催し，市長と教育委員会が教育施策の方向性を共有し，相互連携して執行にあたるため，両者が協議・調整を行いました。

○市内視察

- 平成28年 5月 高志中等教育学校（シビックプライド醸成 ※新潟暮らし創造運動）
平成28年 6月 鳥屋野中学校（地域連携事業）
平成28年 7月 小須戸小学校，東山の下小学校（地域連携事業）
平成28年 8月 巻北小学校，上所小学校（地域連携事業）
平成28年 9月 江南小学校，赤塚小学校，新津第二小学校，豊栄南小学校，白根北中学校（地域連携事業），山田小学校（マイスター公開授業）
平成28年10月 庄瀬小学校，小新中学校，升潟小学校，沼垂小学校，南浜中学校，早通中学校，西内野小学校（地域連携事業），浜浦小学校（マイスター公開授業）
平成28年11月 新潟小学校，茨曽根小学校，小合小学校，味方小学校，金津中学校，両川中学校（地域連携事業），亀田西小学校（マイスター公開授業）
平成28年12月 桜が丘小学校，新津第一小学校，東石山中学校（地域連携事業），小針中学校（マイスター公開講座）
平成29年 1月 味方小学校，亀田西小学校，小針小学校，有明台小学校（地域連携事業）

- ・ 35カ所の学校の視察を行い，実際の教育現場の状況を把握するようにしています。
- ・ 視察の際は，教職員等と意見交換を行うなど，情報交換に努めています。

○行政視察（県外視察）

平成28年11月 京都府京都市

- ・京都市立御池中学校（小中一貫教育特区）

5・4制の小中一貫教育など、学校運営で4つの特色ある取組を行っており、学力向上や地域からの支援などさまざまな効果が得られている。

- ・京都市立住吉幼稚園・住吉小学校（教育課程研究指定校事業（幼小接続）指定園）

幼小接続の視点を取り入れることで授業改善につながり、子どもの安心・安定が向上し、主体的に学ぶ姿が見られるようになった。

- ・先進地の教育行政を参考にして、新潟市の教育行政に役立てるため、年に一度、県外の行政視察を行っています。
- ・京都市教育委員会の先進的な取組である、小中一貫教育、幼少接続の取組を視察しました。

○指定都市教育委員・教育長協議会・他団体関係

平成28年4月 全県教育長会議

平成28年5月 新潟県都市教育長協議会 春季定期総会
第1回指定都市教育委員・教育長協議会

平成28年7月 新潟県市町村教育委員会連合会定期総会

平成28年10月 新潟県都市教育長協議会 秋季定期総会
都道府県・指定都市新任教育委員研究協議会

平成29年1月 第2回指定都市教育委員・教育長協議会

- ・指定都市教育委員・教育長協議会、新潟県都市教育長協議会に教育長が参加している他、その他連合会の研修等に教育委員も参加し、他指定都市や他市町村の教育委員とも積極的に情報交換をおこなっています。

○学校周年事業・卒業式等への教育委員の出席状況

平成28年7月 開校記念式典（日和山小学校）

平成28年9月 創立40周年記念式典（月潟小学校，新津第三小学校，五十嵐中学校）

平成28年10月 創立140周年記念式典（丸山小学校），創立70周年記念式典（内野中学校）

平成28年11月 創立40周年記念式典（上山小学校）

平成29年3月 卒業式（万代高等学校，明鏡高等学校，高志中等教育学校，東特別支援学校，西特別支援学校）

○その他の出席

成人の日のつどい，小・中学校教員採用選考検査確認，公募校長採用試験審査，校長選考検査面接官，市立学校園長全体研修会，教科用図書特徴説明会・学習会，教育フォーラム，新任教育委員研修等

3 平成 28 年度の主な取組と成果

新潟市教育ビジョン第 3 期実施計画は、平成 27 年度から 31 年度の 5 か年を期間とし、これまでの教育ビジョン前・後期実施計画の基本構想や基本計画を原則的に継続「NEXT」するとともに、新たな視点「NEW」を加えて策定しました。

平成 28 年度は、この計画に盛り込まれた施策を実施し、「学・社・民の融合による教育の推進」に引き続き取り組み、「地域と共に歩む学校づくり」の推進をはじめ、一つひとつの施策・事業が充実してきました。

教育委員会の主な取組と成果は、次のとおりです。

① 教育ミーティングの本格実施

区担当教育委員の活動として、教育情報を地域に発信するとともに、地域の実情を把握するため、各区の自治協議会と意見交換を行う区教育ミーティングを各区で2回実施しました。

また、中学校区内のコミュニティ協議会、保護者等と意見交換を行う中学校区教育ミーティングを、「地域と学校の連携について」をテーマに各区3中学校区計24回実施し、その中学校区内の教育の実情や取組などを共有し、地域と学校の連携を深め、地域全体で子どもを育てる気運の醸成を図りました。

② 学校適正配置の推進

子どもたちのより良い教育環境の確保を目指して策定された「学校適正配置基本方針」に基づき、複式学級や教室の不足が見込まれる緊急性の高い地域で「地域検討会」が設立されて協議をしています。平成 30 年 4 月には太田小学校が葛塚東小学校に編入します。

存続要望のあった学校区のコミュニティ協議会とは情報交換等を行い、今後の学校のあり方について検討を継続しています。

③ 一貫教育の検討

昨年度発足した新潟市一貫教育推進協議会において、公私立の幼稚園や保育園の各代表も参加し、就学前から義務教育終了までの一貫教育について協議しています。下部組織である小中一貫教育部会では、4つのパイロット中学校区において実践を始め、情報を蓄積しています。また、幼・保・小連携部会では、接続カリキュラムの検討を重ねています。

④ 基礎・基本を身につける教育の推進

本市独自の単元評価問題の学校向けWeb配信を継続し、その結果や分析から、単元別の基礎的・基本的な知識・技能の習得状況を把握することで、授業改善に役立てました。

また、放課後の時間を活用した学習支援環境を整備し、主体的に学ぶ意欲・態度を育成するとともに、大学生などの学習支援ボランティアを引き続き各

校に配置するなど、児童生徒一人一人の学力実態の的確な把握と、きめ細かな指導に努めました。

その結果、全国学力学習状況調査では、小6、中3の国語A、国語B、算数A、算数B、数学A、数学Bの全ての調査問題で、全国平均を上まわりました。

⑤ 地域と学校パートナーシップ事業の充実

学・社・民の融合による教育を推進する取組として、「地域と学校パートナーシップ事業」を引き続き実施しました。事業に伴う、地域教育コーディネーターは302名、学校支援ボランティアの活動機会は延べ53,272回、延べボランティア数は269,096人となり、学校を中心とした地域コミュニティや地域の教育力の一層の向上が図られました。

また「地域と学校ドリームプロジェクト支援事業」において「ウェルカム参観日」を市内45校で開催し、教育活動の公開、学校職員や参加者同士の交流を深めることで事業の周知と推進を図りました。

⑥ 大好きにいがた体験事業の取組

新潟のよさを知り、新潟への愛着を育む学習活動を支援することを目的に、平成28年度に新規事業として取り組みました。30校の推進校が新潟のよさをもとに総合的な学習の時間を充実させました。

その成果を年度末に「にいがたきらっと発見 BOOK」にまとめ各学校に配付しました。また、公民館、図書館、区役所等で閲覧できるようにしました。

⑦ 第32期新潟市社会教育委員会議の取組

第32期社会教育委員会議では、本市の生涯教育施策の方向性についてまとめた前期の建議「新潟市の生涯学習のあるべき姿『ともに学び、育ち、創る』～ゆたかな新潟をめざして～」を更に掘り下げ、施策を推進するため『学びの循環』による人づくり」を第32期の建議テーマに決定し、調査・研究を進めました。

学びの成果を自己にとどめずに、他者の学びを支え、地域課題の解決に生かすなど、「学びの循環」の観点から「学校」・「社会教育施設」・「地域」を舞台にした取組みの視察や関係者からのヒアリングを行い、来年度末の建議提出に向け協議を重ねました。

⑧ 新潟市いじめ防止市民フォーラム（教育フォーラム2016）の実施

「いじめは人権侵害であり、人権侵害はどのような理由があっても許されない。」ということについての市民の意識を高め、いじめの防止を確実にを行うために、本フォーラムを開催しました。

フォーラムの第1部では鳴門教育大学 森田洋司特任教授から「いじめを止められる社会を目指して」というテーマで講演いただきました。

第2部のトークタイムでは、「いじめを生まない、いじめを止められる社会

をつくるために、わたしたちがすべきことは何か？」というテーマで、森田洋司特任教授、地域教育コーディネーターの郷扶二子氏、篠田昭市長の3名が、学校や地域で子どもが安心して楽しく過ごせるために、大人がすべきことは何かを、それぞれの立場や視点から意見交換しました。

フォーラムをとおして参加者全員が、社会全体でいじめの防止に向けて、いじめを生まない風土づくりに取り組むことが大切であることを認識しました。

⑨ 少子化対策について

「新潟未来ビジョン」に則った少子化対策の取組の一つとして、地域少子化対策重点推進補助金を受け、結婚を希望する男女を対象に人材育成を目的としたセミナーと出会いの場となるイベントを連続して開催しました。

参加者は、セミナーを通してスキルアップすることで、自信を持ってイベントに参加し、最終的に19組38人のマッチングに成功しました。

引き続き、若者対象とした事業の開催を通して、個人のスキルアップと出会いの場・交流の場の提供を行っていきます。

⑩ 第二次新潟市子ども読書活動推進計画による読書活動の推進

平成27年3月に策定した第二次計画（平成27～31年度）に基づき、図書館をはじめ、家庭、保育園・幼稚園、学校、地域において、子どもの読書環境の整備を進めました。

ブックスタート事業や家族で一緒に読書を楽しむ「うちどく」を引き続き実施したほか、子育て世代の図書館利用を促す「赤ちゃんタイム」を実施する図書館を拡大しました。

また、学校図書館活用推進校の指定や、特別支援学校の学校司書配置に向けた検討など、学校図書館の充実に努めました。

II 新潟市教育ビジョンの施策評価について

新潟市教育ビジョンの平成28年度の実施状況について、有識者の知見を活用した評価を以下に示します。

1 平成28年度施策評価一覧

全施策の平均 4.12 (NEXT&NEWの平均 4.10)

○評価分布(評価対象51指標)

- ・目標を上回って達成…17.6%
- ・目標を概ね達成…66.7%
- ・目標をもう少しで達成…9.8%
- ・目標を下回った…3.9%
- ・目標を大きく下回った…2.0%

| |
|----------------|
| 凡例 |
| 目標を上回って達成 … 5 |
| 目標を概ね達成 … 4 |
| 目標をもう少しで達成 … 3 |
| 目標を下回った … 2 |
| 目標を大きく下回った … 1 |

| 基本施策(13施策) | 施策(54施策) | | H28施策評価(後期進捗) | |
|-------------------------------|------------------------|------------------------------|---------------|-----|
| | 網掛…【NEXT】&【NEW】に該当する施策 | | | |
| 1 確かな学力の向上 | 1-1(1) | 社会の変化や新たな課題に対応できる教育の推進 | 4.3 | 3.9 |
| | 1-1(2) | 学び続ける資質・能力を育むキャリア教育の推進 | 4.3 | |
| | 1-1(3) | 基礎・基本を身に付ける教育の推進 | 3.4 | |
| | 1-1(4) | アグリ・スタディ・プログラムの推進 | 4.0 | |
| | 1-1(5) | 学習習慣の定着 | 5.0 | |
| | 1-1(6) | 読書活動の推進と新聞活用の充実 | 2.5 | |
| 2 豊かな心と健やかな体の育成 | 2-1(1) | いのちの教育・心の教育の推進 | 4.3 | 3.9 |
| | 2-1(2) | 一人一人の成長を促す生徒指導の推進 | 3.6 | |
| | 2-1(3) | 体験活動・ボランティア活動の充実 | 4.0 | |
| | 2-1(4) | 文化・芸術活動体験の推進 | 5.0 | |
| | 2-1(5) | 体力づくりの推進 | 3.0 | |
| | 2-1(6) | 健康づくりの推進 | 3.5 | |
| | 2-1(7) | 食育の推進 | 4.0 | |
| | 2-1(8) | 青少年の健全育成の推進 | 4.2 | |
| 3 創造性に富み、世界と共に生きる力の育成 | 3-1(1) | 地域学習の充実 | 5.0 | 4.5 |
| | 3-1(2) | 外国語教育・国際理解教育の充実 | 4.5 | |
| | 3-1(3) | 情報教育の充実とICTを活用した教育の取組 | 4.7 | |
| | 3-1(4) | 主体的な取組を促す環境教育の推進 | 4.5 | |
| | 3-1(5) | 海外帰国・外国人児童生徒への教育の推進 | 4.0 | |
| 4 共生社会の実現を目指すインクルーシブ教育システムの推進 | 4-1(1) | 子ども一人一人のニーズと課題に対応した特別支援教育の推進 | 5.0 | 4.3 |
| | 4-1(2) | 特別支援教育のサポート体制の推進 | 5.0 | |
| | 4-1(3) | 早期からの就学相談・支援の充実 | 3.0 | |
| 5 校種間・学校間連携を活かした特色ある学校・園づくり | 5-1(1) | 新潟市にふさわしい小中一貫した教育の取組 | 4.0 | 4.5 |
| | 5-1(2) | 幼児教育の充実と幼保小連携の推進 | 5.0 | |
| 6 人権を守り共に支え合う社会の推進 | 6-1(1) | 人権教育、同和教育の推進、男女平等教育の推進 | 4.6 | 4.3 |
| | 6-1(2) | 交流・体験活動の推進 | 4.0 | |
| 7 家庭教育の充実と子育て支援 | 7-1(1) | 家庭教育充実への支援 | 4.7 | 4.6 |
| | 7-1(2) | 子育て支援の充実 | 4.5 | |
| 8 生涯を通じて学び育つ学習機会の充実 | 8-1(1) | 主体的な学習を支えるシステムづくり | 4.0 | 4.7 |
| | 8-1(2) | 学び育つ各世代への支援 | 5.0 | |
| | 8-1(3) | 地域における生涯学習活動への支援 | 5.0 | |
| 9 地域と学校・社会教育施設が協働する教育の推進 | 9-1(1) | 地域と共に歩む学校づくりの推進 | 4.5 | 4.0 |
| | 9-1(2) | 広報広聴活動の推進 | 4.0 | |
| | 9-1(3) | 学校・地域・NPO等の協働の推進 | 4.5 | |
| | 9-1(4) | 高等教育機関及び企業との連携推進 | 4.7 | |
| | 9-1(5) | 子ども・保護者・地域住民の学校運営への参画 | 4.0 | |
| | 9-1(6) | 市民の生涯学習施設運営への参画 | 2.5 | |
| 10 学びのセーフティネットの構築に向けた取組の推進 | 10-1(1) | 防災・安全教育の充実 | 4.0 | 4.0 |
| | 10-1(2) | 保護者や地域と連携した安心な学校づくりの推進 | 4.0 | |
| | 10-1(3) | 安全な学校施設 | 4.0 | |
| | 10-1(4) | 学びを支援する体制の整備と充実 | 4.0 | |
| 11 学校教育・生涯学習環境の基盤整備 | 11-1(1) | 効果的な指導を支援する施設設備の充実 | 4.0 | 3.6 |
| | 11-1(2) | コミュニティの拠点としての学校整備 | 5.0 | |
| | 11-1(3) | 学校施設の整備 | 1.0 | |
| | 11-1(4) | 生涯学習施設を核とした学習環境の整備 | 4.3 | |
| 12 市民に信頼される教育関係職員の育成 | 12-1(1) | 教育関係職員の研修プログラムの充実 | 4.0 | 4.1 |
| | 12-1(2) | 教職員への支援体制の充実 | 4.3 | |
| | 12-1(3) | 信頼される教職員の採用・登用・配置 | 4.0 | |
| | 12-1(4) | 教育関係職員の人事管理の適正化 | 4.0 | |
| 13 ニーズと課題に応える教育行政の創造 | 13-1(1) | 新潟らしい教育改革の推進 | 4.0 | 4.0 |
| | 13-1(2) | 効果的・効率的な執行体制の整備 | | |
| | 13-1(3) | 教育情報の収集と発信 | 4.0 | |
| | 13-1(4) | 学校適正配置 | | |
| | 13-1(5) | 教育施策の管理と適切な評価 | (3.0) | |

2 主な施策・事業の評価状況

「NEXT」&「NEW」に該当する施策を取り上げています。

1 確かな学力の向上

1-（1） 社会の変化や新たな課題に対応できる教育の推進

主な事業・持続可能な開発のための教育(ESD)推進事業
・「アクティブ・ラーニング」による教育活動の推進

| |
|---------|
| H28施策評価 |
| 4.3 |

【NEXT5】

○確かな学力・豊かな心・健やかな身体を育む教育を進めます。

●施策の目標

| 指標1 | ESDを自校の教育活動に位置付けている学校の割合(%) | | | | | | H28評価 |
|------|-----------------------------|-------|-------|-------|-----|-----|-------|
| Ⅲ型 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 5 |
| 指標目標 | | 20.0 | 50.0 | 75.0 | | | |
| 進捗状況 | - | 42.5 | 72.0 | | | | |
| 指標2 | 「アクティブ・ラーニング」を実施した学校の割合(%) | | | | | | H28評価 |
| Ⅲ型 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 4 |
| 指標目標 | | 100.0 | 100.0 | 100.0 | | | |
| 進捗状況 | 92.0 | 95.0 | 100.0 | | | | |
| 指標3 | 放課後の学習支援をする中学校(校) | | | | | | H28評価 |
| Ⅲ型 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 4 |
| 指標目標 | | 56 | 56 | 56 | | | |
| 進捗状況 | - | 56 | 56 | | | | |
| 指標4 | 環境教育に関する実践的な取組を広報する(回) | | | | | | H28評価 |
| Ⅲ型 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 4 |
| 指標目標 | | 1.0 | 1.0 | 1.0 | | | |
| 進捗状況 | 1 | 1.0 | 1.0 | | | | |
| 指標5 | 環境教育事業の実施 | | | | | | H28評価 |
| Ⅳ型 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
| 指標目標 | | 実施 | 実施 | 実施 | | | |
| 進捗状況 | 実施 | 実施 | 実施 | | | | |

○すべての学校が、「アクティブ・ラーニング」を取り入れた教育活動を実施した。

○4月に第1回の研究主任研修会を開催し、アクティブ・ラーニングの充実に向けた全体指導を行うとともに、各学校の取組計画についてグループ協議で検討を行い、研究主任が各学校で取組をリードできるよう支援した。その後、計画訪問及び要請訪問を通じて、各学校の状況に応じて個別の支援・指導を継続した。その結果、学びの質や深まりを重視する授業づくりが着実に広まっている。

○アフタースクール学習支援員については、今年度、数学25名、英語29名を登録し、英語は全56中学校、数学は54中学校に配置した。5月にアフタースクール学習支援員連絡会を行い、今年度の概要を説明した。6月からアフタースクールの講座を開始した学校もある。全体での一斉授業と個別の支援の両面から生徒の能力やニーズに応じた学習支援を展開している。10月には学習支援員の研修会を行い、支援の質の向上に努めた。

1-（3） 基礎・基本を身に付ける教育の推進

主な事業・学力実態調査 ・学習支援員派遣事業
・学力定着支援事業 ・理数大好きプロジェクト
・アフタースクール学習支援事業

| |
|---------|
| H28施策評価 |
| 3.4 |

【NEXT5】

○確かな学力・豊かな心・健やかな身体を育む教育を進めます。

●施策の目標

| 指標1 | 全国学力調査B問題(小6・国語)で全国平均を上回った児童の割合(%)→H29～全国学力調査B問題(小6・国語)で全国平均正答率に対する新潟市平均正答率の割合(%) | | | | | | H28評価 |
|------|---|------|------|-------|-------|-------|-------|
| I型 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 4 |
| 指標目標 | | 61.7 | 61.9 | 104.0 | 104.0 | 104.0 | |
| 進捗状況 | 70.7 | 68.5 | 63.5 | | | | |
| 指標2 | 全国学力調査B問題(小6・算数)で全国平均を上回った児童の割合(%)→H29～全国学力調査B問題(小6・算数)で全国平均正答率に対する新潟市平均正答率の割合(%) | | | | | | H28評価 |
| I型 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 2 |
| 指標目標 | | 59.7 | 59.9 | 104.0 | 104.0 | 104.0 | |
| 進捗状況 | 73.4 | 56.0 | 50.0 | | | | |
| 指標3 | 全国学力調査B問題(中3・国語)で全国平均を上回った児童の割合(%)→H29～全国学力調査B問題(中3・国語)で全国平均正答率に対する新潟市平均正答率の割合(%) | | | | | | H28評価 |
| I型 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 3 |
| 指標目標 | | 53.2 | 53.4 | 104.0 | 104.0 | 104.0 | |
| 進捗状況 | 67.3 | 66.1 | 49.0 | | | | |
| 指標4 | 全国学力調査B問題(中3・数学)で全国平均を上回った児童の割合(%)→H29～全国学力調査B問題(中3・数学)で全国平均正答率に対する新潟市平均正答率の割合(%) | | | | | | H28評価 |
| I型 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 2 |
| 指標目標 | | 61.2 | 61.3 | 104.0 | 104.0 | 104.0 | |
| 進捗状況 | 62.8 | 48.2 | 52.0 | | | | |
| 指標5 | 児童質問紙「授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか」で、肯定的な回答をした児童(小6)の割合(%) | | | | | | H28評価 |
| Ⅲ型 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 4 |
| 指標目標 | | 84.0 | 84.5 | 85.0 | | | |
| 進捗状況 | 83.1 | 87.7 | 87.4 | | | | |
| 指標6 | 児童質問紙「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」で、肯定的な回答をした児童(小6)の割合(%) | | | | | | H28評価 |
| Ⅲ型 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 4 |
| 指標目標 | | 70.5 | 71.0 | 72.0 | | | |
| 進捗状況 | 69.8 | 70.7 | 74.4 | | | | |
| 指標7 | 生徒質問紙「授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか」で、肯定的な回答をした生徒(中3)の割合(%) | | | | | | H28評価 |
| Ⅲ型 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 4 |
| 指標目標 | | 80.0 | 80.5 | 81.0 | | | |
| 進捗状況 | 79.1 | 85.0 | 84.2 | | | | |
| 指標8 | 生徒質問紙「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」で、肯定的な回答をした生徒(中3)の割合(%) | | | | | | H28評価 |
| Ⅲ型 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 4 |
| 指標目標 | | 70.0 | 71.0 | 72.0 | | | |
| 進捗状況 | 69.0 | 70.5 | 71.6 | | | | |

○継続した授業改善の取組により、全国学力調査で、多くの児童生徒が全国平均を上回った。

○【全国学力・学習状況調査による正答率】
・国語A 小学校：76.3%(全国比+3.4)、中学校：76.8%(全国比+1.2)
・国語B 小学校：61.3%(全国比+3.5)、中学校：67.4%(全国比+0.9)
・算数数学A 小学校：79.7%(全国比+2.1)、中学校：62.7%(全国比+0.5)
・算数数学B 小学校：49.1%(全国比+1.9)、中学校：45.6%(全国比+1.5)

○全国学力調査の国語・算数・数学のB問題において、平均正答率は全国平均より新潟市平均が大きく上回っているものの、指標2～4に見られるように全国平均正答率を上回る児童生徒数の割合は指標目標を下回った。これは、正答率が低位だった児童生徒が各事業によって中位程度まで向上してきた反面、中位の児童生徒が上位には上がらなかったためである。

○学校訪問の継続により、組織的な授業改革が浸透してきた。校長・教頭・研究主任に対し、継続的に授業マネジメント研修を行うことで定着してきたと考えられる。また、8月に教諭全員を集めて実施した授業づくり研修により、中学校の授業改革が進んできた。

○算数・数学の単元評価問題等の配信は、今年度から経年変化が分かるグラフが出るように修正した。指導の要点をもとに指導を行い、評価問題に取り組む学校が増えてきた。

1-（4） アグリ・スタディ・プログラムの推進

主な事業 ・「アグリ・スタディ・プログラム」に基づく体験学習の推進

| |
|---------|
| H28施策評価 |
| 4.0 |

【NEXT5】

○確かな学力・豊かな心・健やかな身体を育む教育を進めます。

●施策の目標

| 指標1 | 「アグリ・スタディ・プログラム」に基づく体験学習を実施している小学校の割合(%) | | | | | | H28評価 |
|------|--|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| I型 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 4 |
| 指標目標 | | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | |
| 進捗状況 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | | | | |
| 指標2 | アグリ・スタディ・プログラム評価・サポート委員会によるプログラムの検証率(%) | | | | | | H28評価 |
| I型 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 4 |
| 指標目標 | | 25.0 | 50.0 | 75.0 | 100.0 | 100.0 | |
| 進捗状況 | - | 25.0 | 50.0 | | | | |

□すべての小学校が「アグリ・スタディ・プログラム」に基づく体験学習を実施した。

○アグリ・スタディ・プログラム(以下ASP)総合推進会議の検討内容を受け、各区小学校代表校長(8名)と代表中学校長(4名)からなるASP推進委員会を2回開催した。そこでは、総合推進会議で示された方向性に基づいて、各区において具体的にどのように取り組むかについて情報交換を行った。

○教職員向けのASP研修会を4回開催した。ここでは、搾乳体験などのASPの体験プログラムを実際に体験するとともに、それを取り入れた具体的な指導方法についての研修を行った。参加者からは、すぐに自分の実践に活用できる研修内容として好評を得た。

1-（6） 読書活動の推進と新聞活用の充実

主な事業 ・学校図書館活用推進校事業 ・学校図書館支援センター事業
・学校図書館支援事業 ・新聞活用の推進

| |
|---------|
| H28施策評価 |
| 2.5 |

【NEXT5】

○子どもの読書活動を推進するとともに、市民が自ら課題解決を図るための読書環境を充実していきます。

●施策の目標

| 指標1 | 学校図書館を活用した授業を「月に数回程度」行った小学校の割合(%) | | | | | | H28評価 |
|------|---|------|------|------|------|------|-------|
| I型 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 1 |
| 指標目標 | | 78.0 | 79.0 | 80.0 | 81.0 | 82.0 | |
| 進捗状況 | 77.2 | 75.6 | 46.8 | | | | |
| 指標2 | 学校図書館を活用した授業を「学期に数回程度」行った中学校の割合(%) | | | | | | H28評価 |
| I型 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 4 |
| 指標目標 | | 56.0 | 57.0 | 58.0 | 59.0 | 60.0 | |
| 進捗状況 | 55.1 | 62.1 | 55.2 | | | | |
| 指標3 | 中学生の不読率(%) | | | | | | H28評価 |
| I型 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 4 |
| 指標目標 | | 12.0 | 11.5 | 11.0 | 10.5 | 10.0 | |
| 進捗状況 | 12.1 | 12.3 | 11.8 | | | | |
| 指標4 | ほぼ毎日新聞を読む中学生の割合が、全国平均を上回る(ポイント)→H29～週に1回以上新聞を読む中学生の割合が、全国平均を上回る(ポイント) | | | | | | H28評価 |
| Ⅲ型 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 1 |
| 指標目標 | | 2.8 | 2.8 | 2.8 | | | |
| 進捗状況 | 2.7 | 1.0 | 1.1 | | | | |

□読書活動推進により、中学校で不読率が改善方向を示してきた。

○指標1のH28評価が低評価に止まったのは、全国学力・学習状況調査の項目内容が「図書館の活用」から「図書館資料の活用」に変わったためである。今後、教育委員会で実施している調査結果を用いて評価していく。

○学校図書館活用推進校事業の説明会を5月18日に開催し、今年度の活用推進校33校(小学校22校・中学校11校)が参加した。2月に各区で行われた実践報告会では、「読書センター」「学習・情報センター」としての機能を意識した優れた実践報告が行われた。また、総合教育センターの研修講座「教員と司書との連携充実」(8月5日「図書館活用推進編」、9月16日「探究学習編」)には多くの推進校の教員と司書が参加し、学校図書館を活用した探究型学習について学びを深めた。

2 豊かな心と健やかな体の育成

2-（2） 一人一人の成長を促す生徒指導の推進

主な事業 ・いじめ対策等生徒指導推進事業
・教育相談ネットワーク事業
・カウンセラー等活用事業

| |
|---------|
| H28施策評価 |
| 3.6 |

【NEXT5】

○確かな学力・豊かな心・健やかな身体を育む教育を進めます。

●施策の目標

| 指標1 | 新潟市生活・学習意識調査の「自律性」「社会性」にかかわる質問項目のうち、肯定的な回答が前年度の数値を上回った項目の割合(%) | | | | | | H28評価 |
|------|--|-------|-------|------|-----|-------|-------|
| Ⅲ型 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 4 |
| 指標目標 | | 66.7 | 66.7 | 67.0 | | | |
| 進捗状況 | 61.1 | 83.3 | 69.2 | | | | |
| 指標2 | 小学校 いじめ解消率(%)※「解消率」…「解消」と「一定の解消」を合わせたものの割合 | | | | | | H28評価 |
| Ⅱ型 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 4 |
| 指標目標 | | 100.0 | 100.0 | 97.0 | | 100.0 | |
| 進捗状況 | 96.2 | 99.1 | 95.8 | | | | |
| 指標3 | 中学校 いじめ解消率(%)※「解消率」…「解消」と「一定の解消」を合わせたものの割合 | | | | | | H28評価 |
| Ⅱ型 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 4 |
| 指標目標 | | 100.0 | 100.0 | 97.0 | | 100.0 | |
| 進捗状況 | 94.5 | 96.3 | 98.1 | | | | |
| 指標4 | 小学校 不登校(30日以上欠席)発生率(%) | | | | | | H28評価 |
| Ⅲ型 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 2 |
| 指標目標 | | 0.38 | 0.38 | 0.38 | | | |
| 進捗状況 | 0.40 | 0.40 | 0.44 | | | | |
| 指標5 | 中学校 不登校(30日以上欠席)発生率(%) | | | | | | H28評価 |
| Ⅲ型 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 4 |
| 指標目標 | | 2.65 | 2.62 | 2.60 | | | |
| 進捗状況 | 2.69 | 2.64 | 2.64 | | | | |

□いじめ認知件数が大幅に増加し、いじめ認知に向けた意識が高まった。

○「新潟市いじめ防止等のための基本的な方針」について、迅速かつ組織的・実効的に対応できるように改訂し、各校園に周知した。

○4月の学校マネジメント研修では、「いじめの認知と対応」「学校・学級の諸問題への対応について説明し、校長への周知と理解の促進に努めた。

○11月12日(土)に開催した「新潟市教育フォーラム2016(いじめ防止市民フォーラム)」を開催し、新潟市全体でいじめの実態と対応策を共通理解する機会とした。全中学校区から、総計約450名が参加した。

○これまでのスクールカウンセラーの学校への配置に加えて、新たに86校の小学校にスクールカウンセラーを配置し、本年度より、すべての市立学校にスクールカウンセラーの配置を行った。

3 創造性に富み、世界と共に生きる力の育成

3-(2) 外国語教育・国際理解教育の充実

主な事業 ・外国語指導助手(ALT)配置事業
 ・国際交流事業
 ・外国語教育支援事業

H28施策評価

4.5

【NEW5】

○世界とともに生き創造性を発揮する新潟の子どもや市民の育成を目指し、コミュニケーション能力向上とICT活用への取組を進めます。

●施策の目標

| 指標1 | 新潟市生活・学習意識調査(小6)で「外国語活動の勉強が好き」と回答した児童の割合(%) | | | | | | H28評価 |
|------|---|------|------|------|-----|-----|-------|
| Ⅲ型 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 5 |
| 指標目標 | | 75.0 | 75.0 | 82.0 | | | |
| 進捗状況 | 74.5 | 73.8 | 81.1 | | | | |
| 指標2 | 新潟市生活・学習意識調査(中3)で「外国語活動の勉強が好き」と回答した生徒の割合(%) | | | | | | H28評価 |
| Ⅲ型 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 4 |
| 指標目標 | | 56.5 | 56.5 | 57.0 | | | |
| 進捗状況 | 56.0 | 54.6 | 56.7 | | | | |

□「外国語活動の勉強が好き」と回答した児童生徒数が増加した。

・小中高連携をテーマに協力校3校(上所小、鳥屋野中、万代高)による公開授業を行い、指導内容と評価法を見直した。その研修の成果を12月16日に行われた外国語教育マネジメント研修において、全小中高の英語科主任や外国語担当と共有した。

・8月に、現在の英語力の把握とさらなる英語力向上への意識高揚を図るため、中学校英語担当教員に対して英検IBA受検を行った。(140名の中学校英語担当教員が受検)

・小学校と中学校の授業づくり研修会において、外部専門機関から指導者を招聘し、英語指導力の向上を図った。(計3回)

3-(3) 情報教育の充実とICTを活用した教育の取組

主な事業 ・タブレット等ICT活用研修(教職員研修)

H28施策評価

4.7

【NEW5】

○世界とともに生き創造性を発揮する新潟の子どもや市民の育成を目指し、コミュニケーション能力向上とICT活用への取組を進めます。

●施策の目標

| 指標1 | コンピュータ等(タブレットPCを含む)の情報通信技術を活用して、子どもが学ぶ合う協働学習や課題解決型の学習指導を実施した小学校教職員の割合(%) | | | | | | H28評価 |
|------|--|-------|-------|-------|-----|------|-------|
| Ⅱ型 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 5 |
| 指標目標 | | 66.6 | 66.6 | 70.0 | | 70.0 | |
| 進捗状況 | 65.7 | 60.3 | 98.0 | | | | |
| 指標2 | コンピュータ等(タブレットPCを含む)の情報通信技術を活用して、子どもが学ぶ合う協働学習や課題解決型の学習指導を実施した中学校教職員の割合(%) | | | | | | H28評価 |
| Ⅱ型 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 5 |
| 指標目標 | | 51.0 | 51.0 | 55.0 | | 55.0 | |
| 進捗状況 | 50.0 | 50.0 | 97.0 | | | | |
| 指標3 | 「アクティブ・ラーニング」の実施した学校の割合(%) | | | | | | H28評価 |
| Ⅲ型 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 4 |
| 指標目標 | | 100.0 | 100.0 | 100.0 | | | |
| 進捗状況 | 92.0 | 95.0 | 100.0 | | | | |

□小・中学校で、情報通信技術を活用した協働学習や課題解決型の学習指導の実施が大幅に増加した。

○タブレット機器の新規導入校に、活用の基礎となる操作説明会を実施し、授業での活用を促した。

○4月に第1回の研究主任研修会を開催し、アクティブ・ラーニングの充実に向けた全体指導を行うとともに、各学校の取組計画についてグループ協議で検討を行い、研究主任が各学校で取組をリードできるよう支援した。その後、計画訪問及び要請訪問を通じて、各学校の状況に応じて個別の支援・指導を継続しているところである。学びの質や深まりを重視する授業づくりが着実に広まっている。

3-(5) 海外帰国・外国人児童生徒への教育の推進

主な事業 ・日本語指導協力者派遣事業
 ・外国人児童生徒への支援体制の整備

H28施策評価

4.0

【NEW5】

○世界とともに生き創造性を発揮する新潟の子どもや市民の育成を目指し、コミュニケーション能力向上とICT活用への取組を進めます。

●施策の目標

| 指標1 | 日本語指導協力者の指導により、日常会話ができるようになった子どもの割合(%) | | | | | | H28評価 |
|------|--|------|------|------|------|------|-------|
| I型 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 4 |
| 指標目標 | | 85.0 | 85.0 | 85.0 | 85.0 | 85.0 | |
| 進捗状況 | 85.0 | 81.8 | 82.1 | | | | |

□海外帰国・外国人児童生徒が学校生活にスムーズに適應できた。

○年度当初、日本語指導協力者連絡会を開催し、事業の実施について協力者及び学校関係者と共通理解を図った。

○各学校から要請のあった対象児童生徒38名(25か校)に対して、延べ25名の日本語指導協力者を派遣している。派遣回数、児童生徒の日本語能力の実態に応じて15回～25回(1回2時間)としている。

4 共生社会の実現を目指すインクルーシブ教育システムの推進

4-（1）子ども一人一人のニーズと課題に対応した特別支援教育の推進

主な事業・インクルーシブ教育システム構築の推進事業

| |
|---------|
| H28施策評価 |
| 5.0 |

【NEW5】

○共生社会の実現を目指すインクルーシブ教育システムの構築に向けた取組を始めます。

●施策の目標

| 指標1 | 各年度内に特別支援教育に関する公的研修を受講した教員(幼・小・中・高)(人) | | | | | | H28評価 |
|------|--|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| I型 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 5 |
| 指標目標 | 1,500 | 1,500 | 1,500 | 1,500 | 1,500 | 1,500 | |
| 進捗状況 | 1,500 | 1,616 | 1,585 | | | | |

特別支援教育に関する公的研修を通じて、インクルーシブ教育システムの認識が高まった。

○3回実施した合理的配慮セミナーは、それぞれの回の受講対象者を「特別支援教育コーディネーター+希望者」「教頭」「生徒指導担当者+希望者」とし、特別支援教育を学校体制として推進できるようにした。アンケートの評価、満足度も非常に高く、合理的配慮の提供に必要な校内支援体制、組織整備に関して、認識が高まった。

○市立明鏡高等学校の文部科学省指定事業「高等学校における通級指導教室の研究」について、3年間の継続研究の成果発表会を行い、県内外から163人の参加があった。

4-（3）早期からの就学相談・支援の充実

主な事業・早期からの就学支援の推進

| |
|---------|
| H28施策評価 |
| 3.0 |

【NEW5】

○共生社会の実現を目指すインクルーシブ教育システムの構築に向けた取組を始めます。

●施策の目標

| 指標1 | 入学支援ファイルの活用件数(年度ごとの数) | | | | | | H28評価 |
|------|-----------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| Ⅲ型 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 3 |
| 指標目標 | | 300 | 350 | 310 | | | |
| 進捗状況 | 280 | 331 | 315 | | | | |

小学校新入学生の「入学支援ファイル」のより一層の活用のため、目的や活用例を説明した。

○小学校新入生の「入学支援ファイル」の活用状況調査において、「入学支援ファイル」の提出は315人であり、新入生の4.8%の提出である。特に特別支援学級在籍児童の提出は、90.2%であった。

○特別支援教育管理職研修や幼稚園研修において、就学支援や「入学支援ファイル」の目的や活用例について説明し、保護者と学校との連携を促した。

5 校種間・学校間連携を活かした特色ある学校・園づくり

5-（1）新潟市にふさわしい小中一貫した教育の取組

主な事業・小中一貫教育パイロット事業
・学校間連携推進事業

| |
|---------|
| H28施策評価 |
| 4.0 |

【NEW5】

○未来の新潟を担う子どもたちの生きる力の育成のため、校種間の連携をさらに進めます。

●施策の目標

| 指標1 | 小中一貫教育推進協議会(回) | | | | | | H28評価 |
|------|---|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| Ⅲ型 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 4 |
| 指標目標 | | 発足 | 3 | 2 | | | |
| 進捗状況 | - | 発足 | 3 | | | | |
| 指標2 | 新規パイロット事業実施中学校区数(延べ数)→H29～新潟市にふさわしい小中一貫した教育に取り組んだ中学校区数(延べ数) | | | | | | H28評価 |
| I型 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 4 |
| 指標目標 | | - | 4 | 8 | 24 | 40 | |
| 進捗状況 | - | - | 4 | | | | |
| 指標3 | 学び方等、共通の取組を設定した中学校(校区数) | | | | | | H28評価 |
| Ⅱ型 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 4 |
| 指標目標 | | 56 | 56 | 56 | | 56 | |
| 進捗状況 | - | 55 | 56 | | | | |

幼・保・小・中連携事業についての実践事例集を編集し、取組を広める体制ができた。

○「小中一貫教育部会」を3回(平成27年度から通算5回目)開催した。4つのパイロット校における実践をもとに情報交換を行い、各校の実施内容と現状における課題などについて協議した。実践を通して、小中一貫教育を各中学校で進める際の共通プログラムと独自プログラムのイメージが明らかになってきた。また、第5回の部会では、平成29年度からのパイロット校にも参加してもらった。実践を始めるにあたって不明な点を確認することができた。

○「幼保小連携部会」では、今年度から新潟版アプローチカリキュラムの作成に向け、教育課程の編成を担当する主任級の委員を新たに加えることで、現場の声を反映させやすくなった。協議を通じて新潟版アプローチカリキュラムの概要が明らかになってきた。

5-(2) 幼児教育の充実と幼保小連携の推進

主な事業・幼保小連携推進事業
・幼保小合同研修会

| |
|---------|
| H28施策評価 |
| 5.0 |

【NEW5】

○未来の新潟を担う子どもたちの生きる力の育成のため、校種間の連携をさらに進めます。

●施策の目標

| 指標 | 幼児園・保育園との連携の充実を図り、小学校への円滑な接続を図るための教育懇談会を実施した小学校の割合(%) | | | | | | H28評価 |
|------|---|------|-------|-------|-----|-------|-------|
| II型 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 5 |
| 指標目標 | | 10.0 | 95.0 | 100.0 | | 100.0 | |
| 進捗状況 | - | 90.0 | 100.0 | | | | |
| 指標2 | 接続を見通した教育課程の編成・実施が行われている小学校の割合(%) | | | | | | H28評価 |
| II型 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 5 |
| 指標目標 | | 10.0 | 40.0 | 70.0 | | 70.0 | |
| 進捗状況 | - | 30.0 | 72.0 | | | | |
| 指標3 | 接続を見通した教育課程の編成・実施が行われている市立幼稚園の割合(%) | | | | | | H28評価 |
| II型 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 5 |
| 指標目標 | | 27.3 | 90.0 | 100.0 | | 100.0 | |
| 進捗状況 | - | 81.2 | 100.0 | | | | |
| 指標4 | 隣接する小学校区における、幼稚園、保育園、小学校等の職員を交えた研究保育を年間複数回実施した市立幼稚園の割合(%) | | | | | | H28評価 |
| II型 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 5 |
| 指標目標 | | 18.1 | 63.6 | 90.0 | | 90.9 | |
| 進捗状況 | - | 54.5 | 90.0 | | | | |

□研修会を通じて、幼・保・小の接続カリキュラムについての意識が高まった。

○8月4日、中之口幼稚園において新潟市幼保小連携推進事業合同研修会を開催し、西蒲区内小学校・公私立幼稚園・保育園の教員・保育士等57名が参加した。公開保育をもとにした協議と幼保小連携や接続に関する情報交換が行われた。幼児期の教育で大切にされていることをどのように小学校における教育へとつなげていくか参加者が熱心に協議した。

○市立幼稚園教育研究協議会の研修会の際、アプローチカリキュラム作成について指導・助言し、幼小接続期カリキュラム作成への意識が高まった。

8 生涯を通じて学び育つ学習機会の充実

8-(2) 学び育つ各世代への支援

主な事業・にいがた市民大学開設事業・現代的課題を学ぶ公民館事業
・学習成果を発表する場の提供・子どもの読書環境の整備
・子どもが読書に親しむ機会の充実
・仕事やくらしの課題解決のための情報提供事業

| |
|---------|
| H28施策評価 |
| 5.0 |

【NEXT5】

○子育てや各世代の学びに対する支援に努め、地域の教育力の活用を推進します。

●施策の目標

| 指標 | にいがた市民大学の受講率(%) | | | | | | H28評価 |
|------|---------------------------|--------|--------|--------|------|------|-------|
| I型 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 5 |
| 指標目標 | | 95.0 | 95.0 | 95.0 | 95.0 | 95.0 | |
| 進捗状況 | 84.5 | 122.5 | 112.5 | | | | |
| 指標2 | 現代的課題を学ぶ事業の実施 | | | | | | H28評価 |
| IV型 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | / |
| 指標目標 | | 実施 | 実施 | 実施 | | | |
| 進捗状況 | - | 実施 | 実施 | | | | |
| 指標3 | 文化祭・芸能祭等の実施 | | | | | | H28評価 |
| IV型 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | / |
| 指標目標 | | 実施 | 実施 | 実施 | | | |
| 進捗状況 | - | 実施 | 実施 | | | | |
| 指標4 | 児童書の貸出冊数(冊)12歳以下の子ども1人あたり | | | | | | H28評価 |
| III型 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 5 |
| 指標目標 | | 12.2 | 12.4 | 13.2 | | | |
| 進捗状況 | 12.1 | 13.1 | 13.1 | | | | |
| 指標5 | レファレンス受付件数(件) | | | | | | H28評価 |
| III型 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 5 |
| 指標目標 | | 72,000 | 72,800 | 90,000 | | | |
| 進捗状況 | 69,600 | 83,157 | 94,580 | | | | |

□市民の学習活動の場の確保に努めた。

◎にいがた市民大学：市民提案講座や大学コンソーシアム連携講座など、専門性の高い講座や、時代と社会の要請に応えた講座を合計5講座開設した。定員を上回る受講申し込みがあり、市民の高度で専門的な学習要求に応えた。

○若者を対象に社会人としての能力を高め、他業種の人とのネットワークを広げる機会となる講座や高齢者の健康と生きがいづくりと地域社会参加への支援など、現代的課題の学習機会を提供した。講座受講生が、自主サークルを結成し、更に学習を進め、次年度の講座でスタッフとして参加するなど、学習成果が生かされている。

○公民館で活動している団体の、日頃の学習成果を発表する場として、文化祭や芸能祭を開催し、公民館利用団体等の活性化と学習意欲の向上を図った。

○図書館や学校などでの読み聞かせを行えるよう、読み聞かせボランティアを新たに47名養成した。

9 地域と学校・社会教育施設が協働する教育の推進

9-(1) 地域と共に歩む学校づくりの推進

主な事業・地域と学校パートナーシップ事業
・ふれあいスクール事業
・公民館出前型事業

| |
|---------|
| H28施策評価 |
| 4.5 |

【NEXT5】

○学・社・民の融合による教育を推進します。

●施策の目標

| 指標 | 1校あたりの学校支援ボランティア(延べ人数) | | | | | | H28評価 |
|------|--|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| I型 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 5 |
| 指標目標 | | 1,240 | 1,270 | 1,640 | 1,670 | 1,700 | |
| 進捗状況 | 1,210 | 1,531 | 1,611 | | | | |
| 指標2 | ふれあいスクール週当たり開催(日数)→H29~ふれあいスクール年間開催(1校当たり日数) | | | | | | H28評価 |
| I型 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 4 |
| 指標目標 | | 2.00 | 2.10 | 49 | 51 | 53 | |
| 進捗状況 | 1.93 | 1.97 | 2.02 | | | | |
| 指標3 | 土曜プログラムモデル実施校数(校)→H29~土曜プログラム活用校数(校) | | | | | | H28評価 |
| I型 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 4 |
| 指標目標 | | 4 | 4 | 20 | 24 | 27 | |
| 進捗状況 | - | 4 | 4 | | | | |
| 指標4 | 公民館出前型事業の実施校数(校) | | | | | | H28評価 |
| III型 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 5 |
| 指標目標 | | 66 | 67 | 94 | | | |
| 進捗状況 | 66 | 72 | 89 | | | | |

□すべての市立学校に配置された地域教育コーディネーターが地域と共に歩む学校づくりを推進した。

○地域と学校パートナーシップ事業については、地域から多くの学校支援ボランティアの協力を得て、学習活動の充実、子どもたちの人間関係の広がりや深まり、子どもたちが認めてもらえる機会の増加がみられた。また、学校の地域貢献活動や社会教育施設及び地域コミュニティ協議会との協働事業が増加傾向にある。

○ふれあいスクール事業は、28年度新たに1校を加え、小学校67校で実施した。また、ふれあいスクール運営主任の研修会には、放課後児童クラブの支援員も参加し、ふれあいスクールと放課後児童クラブの連携についての研修や情報交換を行った。

9-(4) 高等教育機関及び企業との連携推進

主な事業・高等教育機関活用推進事業
・図書館と教育機関・企業との連携・協力

H28施策評価

4.7

【NEW5】

○学校や公民館・図書館などにおいて、多様なニーズに応じた学習機会の充実を図るため、企業や民間団体と連携する取組を始めます。

●施策の目標

| 指標1 | 高等教育機関からの専門的な情報提供、指導等を受けている教育課題(課題) | | | | | | H28評価 |
|------|-------------------------------------|-------|-------|------|------|------|-------|
| Ⅲ型 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 4 |
| 指標目標 | | 2 | 3 | 3 | | | |
| 進捗状況 | 1 | 2 | 3 | | | | |
| 指標2 | にいがた市民大学の受講率(%) | | | | | | H28評価 |
| Ⅰ型 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 5 |
| 指標目標 | | 95.0 | 95.0 | 95.0 | 95.0 | 95.0 | |
| 進捗状況 | 84.5 | 122.5 | 112.5 | | | | |
| 指標3 | 連携・協力の実施状況(連携事業数)(件) | | | | | | H28評価 |
| Ⅰ型 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 5 |
| 指標目標 | | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | |
| 進捗状況 | 9 | 11 | 11 | | | | |

□高等教育機関・企業等と連携・協力し、多様なニーズに応じた学習機会を提供した。

○外国語教育については、文科省の英語強化事業「外部専門機関と連携した英語指導力向上事業」を実施し、県外から指導者を招いて、授業を参観してもらうとともに、研究授業の指導案検討の際は、中・高の英語教師の指導力向上にむけての助言をもらった。

○平成28年度より、新たに公益財団法人新潟市国際交流協会との連携による「外国語の絵本の読み聞かせ」、新潟薬科大学との連携による「図書館活用ゲーミフィケーション(図書館の活用方法を学ぶための大学生向け図書館ガイダンス)」を行い、好評を得た。

10 学びのセーフティネットの構築に向けた取組の推進

10-(1) 防災・安全教育の充実

主な事業・「防災教育」学校・地域連携事業(ふるさと新潟防災教育推進事業)

H28施策評価

4.0

【NEW5】

○ニーズと課題に迅速に対応できる教育行政のシステムづくりと学びのセーフティネットの整備を進めます。

●施策の目標

| 指標1 | 「防災教育」学校・地域連携事業指定校数(校・累計) | | | | | | H28評価 |
|------|---------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| Ⅱ型 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 4 |
| 指標目標 | | 34 | 68 | 102 | 136 | | |
| 進捗状況 | 8 | 34 | 69 | | | | |

□「防災教育」学校・地域連携事業の35指定校で、小中学校及び地域と連携した自校化プログラムを作成した。

○各校の防災担当者及び地域教育コーディネーターを対象に、「防災教育」学校・地域連携事業実施研修会を開催した。新潟県防災教育プログラムの<教職員ガイド編>を用いて、防災教育の理念と防災教育の自校化についての説明を行った。また、平成27年度指定校による活動報告(4校)及び中学校区単位でのワークショップを行った。各校の防災教育実践の方向と指導計画自校化のイメージをもつことができるようになった。

10-(4) 学びを支援する体制の整備と充実

主な事業・就学援助事業
・奨学金貸付事業(高校～大学院)
・社会人奨学金貸付事業

H28施策評価

4.0

【NEW5】

○ニーズと課題に迅速に対応できる教育行政のシステムづくりと学びのセーフティネットの整備を進めます。

●施策の目標

| 指標1 | 就学援助制度の保護者への周知率(%)小学校 | | | | | | H28評価 |
|------|--|-------|-------|-------|-----|-------|-------|
| Ⅱ型 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 4 |
| 指標目標 | | 100.0 | 100.0 | 100.0 | | 100.0 | |
| 進捗状況 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | | | | |
| 指標2 | 就学援助制度の保護者への周知率(%)中学校 | | | | | | H28評価 |
| Ⅱ型 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 4 |
| 指標目標 | | 100.0 | 100.0 | 100.0 | | 100.0 | |
| 進捗状況 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | | | | |
| 指標3 | 奨学生(高校～大学院)の採用率(%) | | | | | | H28評価 |
| Ⅲ型 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 4 |
| 指標目標 | | 100.0 | 100.0 | 100.0 | | | |
| 進捗状況 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | | | | |
| 指標4 | 奨学生(社会人)の採用率(%) | | | | | | H28評価 |
| Ⅲ型 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 4 |
| 指標目標 | | 100.0 | 100.0 | 100.0 | | | |
| 進捗状況 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | | | | |
| 指標5 | ふれあいスクール週当たり開催(日数)→H29～ふれあいスクール年間開催(1校当たり日数) | | | | | | H28評価 |
| Ⅰ型 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 4 |
| 指標目標 | | 2.00 | 2.10 | 49 | 51 | 53 | |
| 進捗状況 | 1.93 | 1.97 | 2.02 | | | | |
| 指標6 | 土曜プログラムモデル実施校数(校)→H29～土曜プログラム活用校数(校) | | | | | | H28評価 |
| Ⅰ型 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 4 |
| 指標目標 | | 4 | 4 | 20 | 24 | 27 | |
| 進捗状況 | - | 4 | 4 | | | | |
| 指標7 | 放課後の学習支援をする中学校(校) | | | | | | H28評価 |
| Ⅲ型 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 4 |
| 指標目標 | | 56 | 56 | 56 | | | |
| 進捗状況 | - | 56 | 56 | | | | |

□就学援助事業、奨学金貸付事業を着実に実施し、保護者や採用者に対しての経済的負担の軽減を図った。

○就学援助事業は、小・中学校を通じて保護者全員に「就学援助制度についてのお知らせ」を4月及び10月の年2回配付し周知を図った。児童生徒数59,162人のうち、認定した16,043人の保護者に対して、学校にかかる学用品費や給食費等の一部を援助し、経済的負担の軽減を図った。

○奨学金貸付事業は、募集人数120人に対し、98人の申請があった。そのうち選考基準を満たした93人について採用を決定し貸し付けを行い、高等教育の機会均等を図った。制度周知の強化を図るため、市内の高校を通じて、来年度に進学予定の高校3年生の約8,000人に対して、拡充した返還特別免除制度についての情報が掲載されている案内チラシを配付した。

○社会人奨学金貸付事業は、募集人数10人に対し、7人の申請があった。申請者全員について採用を決定し、キャリアアップを目指す社会人学生に対して経済的支援を行った。

11 学校教育・生涯学習環境の基盤整備

11-1 効果的な指導を支援する施設設備の充実

主な事業 ・学校ICT環境整備事業
・教育ネットワーク構築事業

H28施策評価

4.0

【NEW5】

○世界とともに生き創造性を発揮する新潟の子どもや市民の育成を目指し、コミュニケーション能力向上とICT活用への取組を進めます。

●施策の目標

| 指標1 | タブレット型コンピュータを整備した小・中学校の割合(%) | | | | | | H28評価 |
|------|------------------------------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|
| Ⅱ型 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 4 |
| 指標目標 | | 34.0 | 68.0 | 90.0 | 100.0 | 100.0 | |
| 進捗状況 | 5.0 | 34.0 | 68.0 | | | | |
| 指標2 | 教育ネットワークの構築 | | | | | | H28評価 |
| Ⅳ型 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
| 指標目標 | | 調査・研究 | 調査・研究 | 導入方法検討 | 計画策定 | 開発 | |
| 進捗状況 | - | 調査・研究 | 調査・研究 | | | | |

□**学校内のコンピュータ教室用の端末等機器、校内LAN用コンピュータ、教職員用コンピュータの更新を計画通りに実施した。**

○教育用コンピュータ、校内LANコンピュータの更新は下記の計画どおりに実施されている。更新作業は10月31日までに終了。
・更新計画 … 教育用コンピュータ 58校 2,438台(内タブレット550台) / 校内LAN用コンピュータ 101校 567台(内タブレット480台)

○教育ネットワークの導入については、導入内容の検討を行った。

12 市民に信頼される教育関係職員の育成

12-1 教育関係職員の研修プログラムの充実

主な事業 ・教育関係職員の研修プログラムの一層の充実
・学社民融合研修の推進

H28施策評価

4.0

【NEXT5】

○市民から信頼される学校・教育機関となるよう、人材の育成と職場の環境整備を進めます。

●施策の目標

| 指標1 | 各研修講座における受講者の満足度と活用度(%) | | | | | | H28評価 |
|------|-------------------------|------|------|------|-----|-----|-------|
| Ⅲ型 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 4 |
| 指標目標 | | 80.0 | 85.0 | 85.0 | | | |
| 進捗状況 | 80.0 | 87.0 | 87.5 | | | | |
| 指標2 | マイスター養成塾修了者(人) | | | | | | H28評価 |
| Ⅱ型 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 4 |
| 指標目標 | | 102 | 108 | 110 | 120 | | |
| 進捗状況 | 102 | 103 | 110 | | | | |
| 指標3 | 学社民融合研修会の実施(回) | | | | | | H28評価 |
| Ⅲ型 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 4 |
| 指標目標 | | 7 | 7 | 7 | | | |
| 進捗状況 | 7 | 7 | 7 | | | | |

□**研修プログラムの改善により、講座受講者の満足度と活用度が目標を上回った。**

○前年度より6講座減らしたために、参加人数は減ったが、受講者の評価は高い数値を維持することができた。法定研修・若手教師道場での「指導主事等とのマンツーマンの授業づくり研修」の体制を堅持したこと、学校のニーズに応じた研修講座を提供したこと、参加型の研修方法を工夫したことが評価されている。

○パートナーシップ事業研修会に公民館の学社民融合支援主事、図書館職員が延べ98名参加して地域教育コーディネーターとの情報交換を行い、地域教育コーディネーターと社会教育施設とのネットワークづくりを促した。また、地域教育コーディネーターのスキルアップのため、研修運営を担当する地域教育コーディネーターによる研修幹事会と区研修を実施した。

13 ニーズと課題に応える教育行政の創造

13-1 新潟らしい教育改革の推進

主な事業 ・区教育ミーティングの開催
・中学校区教育ミーティングの開催

H28施策評価

4.0

【NEW5】

○ニーズと課題に迅速に対応できる教育行政のシステムづくりと学びのセーフティネットの整備を進めます。

●施策の目標

| 指標1 | 区教育ミーティングの開催(回) | | | | | | H28評価 |
|------|--|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| Ⅲ型 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 4 |
| 指標目標 | | 16 | 16 | 16 | | | |
| 進捗状況 | 16 | 16 | 16 | | | | |
| 指標2 | 中学校区教育ミーティングの実施回数(累計中学校区数)→H29～(中学校区数) | | | | | | H28評価 |
| Ⅱ型 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 4 |
| 指標目標 | | 32 | 56 | 28 | 28 | | |
| 進捗状況 | 8 | 32 | 56 | | | | |

□**教育委員が担当区の区教育ミーティングや中学校区教育ミーティングに参加し、地域や中学校区の取組・課題の共通理解を図れた。**

○第1回目の区教育ミーティングでは、今年度教育委員会が進める施策のうち、特に市民と協働して行う事業について情報提供をし、意見交換を行った。第2回目では、各区の課題や特徴をテーマに話し合うとともに、教育委員から他区の事例を紹介するなど意見交換の充実を図った。

○中学校区教育ミーティングでは、各中学校区の取組や課題について意見交換し、「地域の子どもは地域で育てる」という意識の醸成を図った。

3 教育ビジョン推進委員からの主な質問・意見・要望と教育委員会の対応

施策1-(1) 「社会の変化や新たな課題に対応できる教育の推進」

○ ESD（持続可能な開発のための教育）の広報はどのように行っているのか。また「アクティブ・ラーニング等の取組を研究主任が各学校でリードできるよう支援した」とあるが、研究主任は校内のどのような人が務め、教育委員会は学校の支援要請に十分に答えられているのか。

⇒ ESDについては学校支援課で作成している広報紙等を通じて周知している。研究主任は教諭が務め、授業研究やESDの実施計画等を立てて推進している。学校支援課では計画訪問は2年に1回、要請訪問は各校からの要請に応じて対応している。この他にも総合教育センターの研修や出前講座等で学校の支援にあたっている。

施設1-(5) 「学習習慣の定着」

○ 「家庭学習を1時間以上する中学校2年生の割合」は増えているが、どのように調べているのか。また小学校6年生や中学校の各学年ごとの状況などはわかっているのか。

⇒ 新潟市の生活・学習意識調査は小中学校全学年を対象にしている。「していない」から「3時間以上している」までの幅で状況の把握はしている。全国学力学習状況調査は小6と中3で行われているが、小学校は全国と同じか少し良い状況で、中学校は全国を下回る状況である。

施策1-(6) 「読書活動の推進と新聞活用の充実」

○ 図書館の活用や読書の推進等に取り組んでいるが、読書の感想文を書いたり、その発表を通じて、人の心を育てることはとても大切であると思うが、そのようなことは行われているのか。

⇒ 指標では明確に表れていないが、学校司書を中心に、学級担任等との連携の上で実施されている。

施策3-(2) 「外国語教育・国際理解教育の充実」

○ 小学校3年生からの導入、現中学校3年生が臨む大学入試の改革等を踏まえて、市としての考え方について教えてほしい。また今後、小学校教員に対する研修はどのように変わっていくのか、具体的に教えてほしい。

⇒ 昨年度から小中高連携研究指定校を設置して校種を超えた英語指導の研究に取り組んでいる。また小学校で英語が完全実施される32年度を目途に、子どもたちの英語力を高めるために、計画訪問や要請訪問を通じて、子どもたちが協働性を発揮して学ぶアクティブ・ラーニングの推進を指導している。

小学校教員の研修については、毎年、小中1名の教員が文部科学省の研修を受け、市内の10数名の中核教員に6回の研修を通じて伝達している。次年度はその中核教員が他の教員に伝えていく計画を行う。ALTには、現在の31名を、平成32年までに40名程度に増やす計画である。

○ 英検IBAを140名が受検しているが、全中学校英語教員のどれだけの割合になるか、また今後は、小学校や高等学校にも拡大していくのか。

⇒ 140名は全中学校英語教員の人数である。今のところ、中学校英語教員の力量向上を考えて実施している。

施策4-(1) 「子ども一人一人のニーズと課題に対応した特別支援教育の推進」

- 「インクルーシブ教育システム」を推進する上で、特別支援教育支援員やソーシャルスキルコーチ、特別支援教育サポーター、クラスサポーター等の配置で、子どもを支援するための学校からの要請に応えられているのか。
 - ⇒ 配置基準に沿って配置はできており、現状では足りているが、学校からは更に人手がほしいという要請があり、必要などころには配置をしている。
- 特別支援教育の教員研修はとても大切であるが、実際にどのような方法で行われ、受講した教員の割合はどの程度であるか。
 - ⇒ 平成28年度は校長・教頭を対象に実施し、管理職、特別支援教育コーディネーター、他の教員へと進めていった。概ね4,000人の教職員に対して、毎年1,500人ずつ実施していき、インクルーシブ教育システムの意義や求められている取組等の理解を図り、推進していく。
- 特別支援教育やいじめ対応の研修等では、危険性をもつ状況等を認知できる感性を育むことが大切である。聞くだけの研修でなく、様々な事例検討を通じた感性を磨く研修を目指してほしい。その際、特別支援教育サポートセンターや各区担当指導主事からアセスメント等を指導していただきたい。
 - ⇒ 一人一人の職員が参画し、様々な事例から学んでいくことはとても大切であり、今後の研修計画に活かしていきたい。

施策4-(3) 「早期からの就学相談・支援の充実」

- 入学支援ファイルの活用について、新入生の4.8%は少ないとの印象を受ける。幼稚園や保育園から子どもを受け入れる小学校は、もっと提出してほしいと願っているのではないか。また入学支援ファイルを記入するのは保護者であるのか。
 - ⇒ 全新入生約6,000人の5%であれば300人。普通学級の在籍の児童であり、少ない数値ではないと考えられる。入学支援ファイルは、保護者に説明して、保護者の同意の下、担当教員も記載し、場合によっては療養施設や医師からも記載してもらっている。

施策8-(2) 「学び育つ各世代への支援」

- 「にいがた市民大学」であるが、今後の開催のねらいを含めて、市民大学の意義を教えてください。また講座で学んだ学習成果を活かすための取組が大切であるが、そのために次年度の講座スタッフとして参加したり、自主組織で更に学んだりすることはあるのか。
 - ⇒ 民間団体等も各種の講座を行っている状況を踏まえて、今後も専門性の高い、また時代のニーズにあった内容で、学習機会を提供していく。学んだことを、他地域や他団体等に入って伝えたり、共に活動したりする「学びの循環」は大切であり、主要な事業の1つとして取り組んでいきたい。
- 図書館事業の「赤ちゃんタイム」や「うちどく」が始まったきっかけや現状、課題などを教えてください。
 - ⇒ 「赤ちゃんタイム」は乳幼児を連れて図書館に行けることを目的に、平成26年度に中央図書館で始め、現在は全19図書館で実施している。楽しみに来館していただき、来館者同士の交流も生まれ

ている。「うちどく」は家族と一緒に本を読んだり、感想を話し合ったりして、家族のコミュニケーションを深めることを目的とした家庭内の読書を勧める事業である。

今後更に広く周知するため、ロゴマークの活用、ブックリストの広報、読書ノートの配布等を継続して行っていく。

施策9-(1) 「地域と共に歩む学校づくりの推進」

○ 地域と学校ウェルカム参観日は、昨年度16校から45校に拡大しましたが、参観者は何人だったのか。また授業参観日だからこそ増えたのか。

⇒ 45校で12,767人、昨年度と比べ約4倍となっている。通常の授業参観を拡大している場合もあるが、地域の方に来ていただくためにという場合もあり、各校で異なる。地域の方はおよそ3,000人が来校していた。

施策9-(3) 「学校・地域・NPO等の協働の推進」

○ 「共生社会」や「学・社・民」等により、アウトリーチ型の支援が行われていると思うが、新潟市の事例等について紹介してほしい。またコミュニティ協議会など、地域の組織等が参画していることはあるのですか。

⇒ 地域との連携を大切にし、NPOの方々との連携は約半数の学校で行われている。大学や専門学校とでは53%の学校が連携している。連携内容は、生活指導や学力向上など学校の必要感に基づいて行われ、地域教育コーディネーターが連携先との橋渡しや内容の相談をしている。昨年度、コミュニティ協議会と学校が連携して取り組んだ学校数は、153校であり、全学校の92%である。

施策11-(1) 「効果的な指導を支援する施設設備の充実」

○ タブレット型コンピュータの配置完了時の状況について、教えてほしい。また協働的な学びや集団性を高める取組のためにはとても有効な機器であるため、更に使いやすい環境にしてほしい。

⇒ 平成30年度までに、小中学校各校に10台ずつの配置が終了する予定である。授業等で十分に活用できる状況になると考えている。

参考資料 新潟市教育ビジョン推進委員会平成28年度施策評価経過

| No. | 開催会議等 | 開催年月日 | 協議内容等 |
|-----|-----------|--------------------|-------------------------|
| 1 | 第32回推進委員会 | 平成28年 2月9日(火) | ・平成28年度主要事業について |
| 2 | 第34回推進委員会 | 平成28年 10月31日(月) | ・平成28年度施策実施状況について(中間評価) |
| 3 | 第36回推進委員会 | 平成29年 5月30日(火) | ・平成28年度施策評価について |

新潟市教育ビジョン推進委員会（第5期）委員名簿

任期：平成26年4月1日～平成28年3月31日

(50音順)

| No. | 氏名 | 所属 |
|-----|--------|-----------------|
| 1 | 石坂 学 | 鳥屋野中学校長 |
| 2 | 岩田 すみ江 | 山田小学校長 |
| 3 | 大宮 一真 | 新潟市小中学校PTA連合会会長 |
| 4 | 高橋 文子 | 新潟県生涯学習協会事務局長 |
| 5 | 中村 恵子 | 新潟青陵大学看護学部教授 |
| 6 | 松下 久美子 | 公募委員 |
| 7 | 宮藺 衛 | 新潟大学教育学部教授 |

新潟市教育ビジョン推進委員会（第6期）委員名簿

任期：平成28年4月1日～平成30年3月31日

(50音順)

| No. | 氏名 | 所属 |
|-----|--------|------------------|
| 1 | 小林 利花子 | 公募委員 |
| 2 | 高橋 恒彦 | 東新潟中学校長 |
| 3 | 高橋 文子 | 新潟県生涯学習協会事務局長 |
| 4 | 田中 一昭 | 新潟市小中学校PTA連合会副会長 |
| 5 | 中村 恵子 | 新潟青陵大学看護学部教授 |
| 6 | 畠山 典子 | 関屋小学校長 |
| 7 | 松井 賢二 | 新潟大学教育学部教授 |